

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

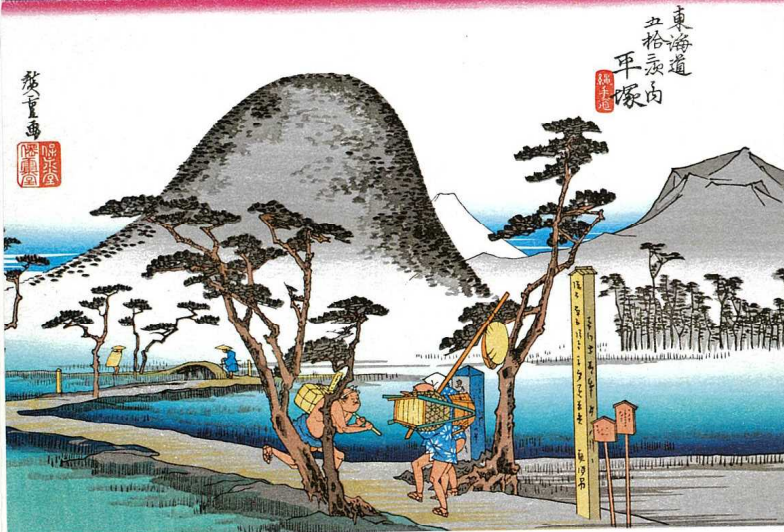
発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



ひまこりぬきんでた高麗山の姿は、  
 今も昔も平塚を歩く人びとの目印である。  
 歩みにつれて刻々と変化する山の  
 形を見ながら進むのも楽しい。  
 春阿豆屋敷のお菊は、伝承もある。

### 東海道五十三次

#### 平塚



本町の絵を見ると、街道沿いには家が軒もないうところから、手前の林は宿のけしき、表示と思われ、風情した道の要にかかる橋は花水橋、背景に見える独特の形の山は高麗山である。  
 現在もこの絵と同じ形の山を望めるが、宿はずれま

で来ると大  
 きく見えすぎる。  
 宿の中は、こ  
 れから風景か  
 もとも似てる。

現在の平塚市はJR平塚駅から北へおよそ二キロメートル、旧東海道に出たあたりが中心街だが、かつての平塚宿はそこから街道沿いに西へ、およそ七キロメートル行ったところ、平塚市民センターのあたり、江を方面からの宿の入口があった。現在は、平塚見附跡の碑がたっている。  
 平塚は昔の面影が残っていない代わりに、史跡表示の目立つ宿場である。

なお平塚宿は、江戸のむかしから七夕祭りがさかん、湘南ひららが七夕まつり、は仙台愛宕真一宮とつながり、日本三大七夕祭りの一つ、旧東海道にあたる平塚商店街が、

